

熊本大学海外派遣留学生 報告書

氏名	R さん		
所属	法 学部・大学院 法 学科・専攻		
留学先機関名	ソウル市立大学 (国名： 韓国)		
留学先所属	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科に所属 (国際関係 学部・研究科) <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 <input type="checkbox"/> その他：		
留学期間	2019 年 9 月 - 2020 年 2 月	留学開始時 学年	3 年次
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO 海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 国際奨学事業 <input type="checkbox"/> トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 <input type="checkbox"/> その他 ()		

1. 出発前の準備について

ビザの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 種類(D-2-6)	ビザ申請先	<input checked="" type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 現地 場所(駐福岡大韓民国総領事館)																								
必要書類、手続き 手続きに要した期間	駐福岡大韓民国総領事館へ行き、ビザ発行の手続きを行った。 また、留学願・履修開始願・海外渡航届に加えて健康診断証明書や担当教員からの推薦状等の書類が必要。																										
ビザ申請以外で 必要な事前手続き	オンライン在留届の提出																										
留学に向けて 取り組んだ語学	<input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 独語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input checked="" type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> その他 (語)																										
勉強方法	日々の韓国語の授業に加え、ハングル検定や TOPIK に向けて自主学習を行い、資格を取得した。																										
留学先の手続き (必要書類、大変だったこと、どのように取り組んだか等)																											
事前の必要経費 (留学前に必要な 支払い費用) ※概算費用	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 授業料</td> <td>円</td> <td><input type="checkbox"/> 寮費</td> <td>66000 円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 語学研修費</td> <td>円</td> <td><input type="checkbox"/> 教材費</td> <td>5000 円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ビザ申請</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">渡航費 (<input type="checkbox"/>片道 <input checked="" type="checkbox"/>往復)</td> <td colspan="2">15000 円程度</td> </tr> <tr> <td colspan="2">海外旅行保険料</td> <td>110630</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> その他 (雑費)</td> <td></td> <td>20000</td> <td>円</td> </tr> </table>			<input type="checkbox"/> 授業料	円	<input type="checkbox"/> 寮費	66000 円	<input type="checkbox"/> 語学研修費	円	<input type="checkbox"/> 教材費	5000 円	<input type="checkbox"/> ビザ申請	円			渡航費 (<input type="checkbox"/> 片道 <input checked="" type="checkbox"/> 往復)		15000 円程度		海外旅行保険料		110630	円	<input type="checkbox"/> その他 (雑費)		20000	円
<input type="checkbox"/> 授業料	円	<input type="checkbox"/> 寮費	66000 円																								
<input type="checkbox"/> 語学研修費	円	<input type="checkbox"/> 教材費	5000 円																								
<input type="checkbox"/> ビザ申請	円																										
渡航費 (<input type="checkbox"/> 片道 <input checked="" type="checkbox"/> 往復)		15000 円程度																									
海外旅行保険料		110630	円																								
<input type="checkbox"/> その他 (雑費)		20000	円																								

2. 渡航～到着時の生活について

利用航空会社	ジンエアー	手配	HIS ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	交通センター→福岡空港→ 仁川国際空港	到着 時刻	【※移動時間（約 6 時間）】
大学（寮）への 移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> 知人の出迎え <input checked="" type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 公共交通機関（ <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	直通のバス（10000 ウォン）と地下鉄（4250 ウォン）の二種類の移動手段があるが、地下鉄は乗り継ぎもあり、駅から大学までも歩いて15分程度かかるため、荷物の多い到着日はバスがおすすめ。		
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート その他（ ）	住居 手配	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で その他（ ）
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋 その他（ ）	ルーム メイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの学生 その他（ ）
住居の申込手順	国際教育課の方を通じてソウル市立大学に申し込みを行いました。		
住居でのトラブル および解決方法	特になし		
大学への交通手段 (※費用がかかれば費用も)	大学の敷地内に寮があります。		
生活費および内訳 (概算を円換算)	生活費計 60500 円/月 （生活費内訳） 住居費： 16500 円/光熱費： 円/通学費： 円 食費： 35000 円/通信費： 4000 円/書籍代： 円 その他：（ 交通費や雑費 ） 5000 円 ※学費・寮費以外に留学先大学へ納入するもの： 円 （徴収された費用の名目： ）		
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	ソウル市立大学内に銀行があり、留学生オリエンテーションの際に必要な学生に口座開設の手続きを行ってくれるのでその時に口座は作っておいたほうが良いと思います。韓国はカード社会なので韓国のカードがあったほうが楽でした。支払いはほとんどそのカードで行なっていました。携帯電話はプリペイドシムを日本で買っておき、利用しました。現地でデータ無制限のSIMカードを買っている友人もいましたが、学校の中や寮、カフェなど韓国はwi-fi が充実しているので、自分がどれだけデータを使うかによって購入するSIMカードの種類を決めた方が良かったと思います。		

3. 留学先の大学について

<p>授業(カリキュラム)の概要について</p>	<p>渡航前に定められた期間の中で履修登録を行い、授業開始後1週間程度履修修正期間がありました。韓国語の授業・英語で行われる授業(留学生用)の授業に加えて、現地の学生と一緒に専門の授業をきくこともできます。どの授業を取るかは全て自分で決めることができました。</p>
<p>履修登録の時期 登録方法</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 渡航前 <input type="checkbox"/> 渡航後 ⇒ (月頃) <input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 志願書類の提出 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>
<p>留学生特例措置 (履修制限、優先措置、留学生専用のオリエンテーション、チューター制度等)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 有り (具体的には以下のとおり) ・チューター制度 ・留学生用のオリエンテーション ・ ・ <input type="checkbox"/> 無し</p>
<p>留学先大学でのサポート体制について (語学面/学校生活/住居・日常生活等)</p>	<p>留学生一人に一人ずつ韓国人のチューターがつき、留学生活のサポートを行ってくれます。週に一回程度顔を合わせ、語学の勉強を行ったり、困っていることを一緒に解決してくれるなど、現地学生の手助けが厚く、充実した生活を送ることができました。留学生専用の窓口や寮にも職員の方がいらっしゃるため、いつでもわからないことは質問ができますが、日本語ができる職員の方が余りいらっしゃらないため、韓国語もしくは英語で対応する必要があります。</p>
<p>留学開始後に行った留学先大学の手続き (学生証、履修登録、大学IDの設定等)</p>	<p>学生証は渡航前に顔写真を送り、渡航後に受け取るという形でした。大学IDも設定しており、渡航後に紙で渡されました。</p>
<p>授業外活動について (サークル、部活、インターン、フィールドワーク等) ※どうやって探したか、どのような活動か、入るきっかけなども具体的に</p>	<p>留学生サポート団体が定期的に交流活動を行っていたため、その活動に積極的に参加していました。韓国人だけでなく、全世界から集まった学生と交流することができ、とても楽しかったです。</p>

4. 一週間のスケジュールについて

(授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00							
9:00		授業					
10:00		授業	授業				
11:00		授業	授業				
12:00			授業				
13:00				チュータリ ング			
14:00		授業		チュータリ ング			
15:00		授業			授業		
16:00		授業			授業		
17:00					授業		
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							
24:00							

空いている時間でチューターが行う交流活動に参加したり、授業内の発表の準備をしたりしていました。

5. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

語学に関しては、半年の留学期間でずいぶん成長したように感じます。もともと日本にいるときは現地の人と（日本語が話せない外国人と）交流する機会が少なかったため、自分自身の語学の実力について知る機会が余りなかったのですが、韓国に行ってから自分の言葉で伝えないとコミュニケーションが取れない状況だったため、語彙や表現の方法が増えたと思います。また、現地の友人とたくさん話すことで教科書にある定型文のような表現より、ネイティブらしい表現の仕方も身につけることができたのではないかと思います。また、熊本を離れて初めて長期間家族や友人がいない状況で生活をしたので、自分の身の回りのことは自分ですするという習慣ができました。何より、この留学に挑戦したということをはじめとして、何か新しいことに挑戦するということの楽しさを知ることができました。

同じ大学へ留学を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関する事など自由に記載してください）

ソウル市立大学は設備も整っており、留学生に対するサポートも厚く、留学するにはとてもいい大学だと思います！授業については学生も先生も熱心に取り組んでおり、刺激的な留学生活を送ることができると思います。寮も学校の中にあり、学校の周りには美味しいお店やかわいいカフェもたくさんあります。韓国は電車も安く乗ることができるため休みの日は様々な場所に遊びに行くこともできます。私自身、とても濃い充実した留学生活を送ることができたので、韓国への留学を迷っている人に対して、ソウル市立大学への留学をぜひ勧めたいです！

留学を通しての感想

留学生活を振り返ると、私自身、大好きな韓国への留学ということで、留学前から大きな期待を抱いていましたが、その期待を裏切ることのないくらい、とても充実した楽しい留学生活を送ることができました。最初は熊大から一人ということで不安も少しありましたが、ソウル市立大学で出会った友達はいいい人ばかりで毎日がとても楽しかったです。また、現地の学生の授業に対する意欲的な姿勢や、社会問題や国政についての関心の高さを目の当たりにし、とても刺激を受けました。また、韓国人だけでなく日本全国から集まった日本人学生や全世界から集まった様々な国の学生とコミュニケーションをとる中で自分自身の視野が広がったように感じます。長期の留学ということで最初は迷いもありましたが、終わってみるといってよかった！という感情しかありません。この留学は語学力や知識を身につけるのはもちろん、私自身を人として成長させるいい機会になりました。ソウル市立大学で学んだこと、感じたことを忘れず、残りの大学生活も充実したものになるよう様々なことに挑戦していきたいと思います。